

〈新規採用教員紹介〉

新規採用教員として「自分らしさ」を考える

早良高校 杠 葉奈

「自分らしくやりなさい」

早良高校に赴任して、多くの先生に言っていた言葉です。「自分らしく」とは何か。赴任して数か月、このことについて考えるなかで、二つの答えが見えてきました。

まず一つ目は、「目標を見失わない」ということです。日々の業務の中で迷ったり悩んだりすることがあります。その時はまず、自分はどのようなのか、生徒はどうしたいのかを考えるようにしています。目標を見失うことなく今できる精一杯を尽くす努力をする中で、「自分らしく」生徒と向き合い、それぞれの「生徒らしさ」を大切にしていきます。

二つ目は、「これまでの過程を大事にする」ということです。大学卒業後、地元の佐賀県で講師を三年ほど経験しましたが、教育者としての礎を築いた福岡県で教鞭をとることを決めました。この道を歩むことにならるまで、様々な出会いがあり、様々な教えを受けて、今の私がいまいます。その過程こそが、今の私がつけている「自分らしさ」なのだと思えるようになります。もちろん、新しいことを取り入れたり、グローバルな視点を持つたりすることも大切ですが、初心を忘れることなく、福岡県で教員をすると決めたあの日の覚悟をもって、これからも前向きに日々を過ごしていきたいと思えます。

このように、「自分らしくやりなさい」と多くの先生に言っていた

たおかげで、この二つのことを考えることが出来ました。今の私にとって、これが「自分らしく」やるということの答えです。しかし、これからも様々な研究、修養を通して、新しい「自分らしさ」も身に付けていきたいと考えています。これからも成長し続けられる自分でいられるよう、学ぶ姿勢を大切にしていきますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

